

「第一号反戦日本兵士前田光繁 100歳の証言」講演会報告

講演会及び懇親会は、9月24日明石市内のホテルで開催され、大使館・大阪総領事館始め反戦兵や参軍者（関東・九州・四国・関西）約60名が参加され盛大に開催されました。

会場入り口には、程永華駐日本中国大使からの花や李天然総領事駐大阪総領事からの誕生ケーキが飾られ、更に中日友好協会や中国国際友好連絡会から祝電等、講演会への中国の格別の配慮・ご支援を頂きました。当会は事務局として企画運営に参加しました。

当日は、講演会・座談会（反戦兵士と戦後中国人民解放軍に参軍した日本青年）・懇親会と3部構成で開催しました。受付開始は10時からでしたが、多くの方々がロビー等で旧交を温めておられました。また実行委員会の下、協賛団体として大使館・大阪総領事館・中国国際友好連絡会と共に日中平和友好会が参加したために九州・関東からもご出席を頂きました。

前田氏の講演会は、高齢の為に挨拶後事前に準備したビデオをスクリーンに投影する形で行い、沢山の拍手で終わりました（講演内容は添付講演資料参照）。

座談会は、山本武利早稲田大学名誉教授の司会の下、小林寛澄（98歳）、元木和夫、元木光子、日向スマ、北郷栄要、砂原恵、小林陽吉氏の7名で行い、各自の参軍状況や体験、日中友好への思いを語って頂きました。特に元木和夫氏や砂原恵氏とは密接に連絡を取り、当会の活動に対し色々ご指導を頂き感謝しております。

懇親会は、祝電を披露すると共にお祝いケーキで祝福後、李天然総領事の来賓挨拶では、前田氏始め反戦兵士や老戦士に対する感謝と敬意を述べると共に民間交流の重要性を訴えられました。その後元木氏の乾杯で開始され、各テーブルで懇談や名刺交換など交流の花が咲きました。このような規模で老戦士の方々が一堂に集まることは最後の機会であり、ご出席各位と次世代間交流できた事は、有意義であると同時に非常に光栄と感じました。

懇談会では、老戦士や日中友好団体からの発言機会を多く設けました。九州日中特別顧問の長谷川忠雄氏を先頭に日中平和友好会本部会長を兼任する新宅久夫氏（関東日中）含め多くの方々に演壇に立って頂きお互い理解を深めたと思います。また、当会の理事を長く務められた石田武夫氏とは十数年ぶりに元気な姿で出席して頂きました。

最後に、東北航空学校設立時に前田光繁氏の直属部下であった砂原恵氏による締め挨拶で講演会は成功裡に終わることができました。各位の思いを胸に更なる日中友好活動に取組みますので、皆様のご協力ご指導よろしくお願い申し上げます。

事務局



お祝い：程永華大使(左)、李天然総領事(右)



講演挨拶の前田光繁



座談会



李天然総領事挨拶



九州日中平和友好会特別顧問長谷川忠雄



日本中国友好協会兵庫県連合会会長前田清



関西日中平和友好会元理事石田武夫



明石市日中友好協会会長松本武城



締め挨拶 砂原恵



会場風景

写真氏名敬称略